

1. 西武新宿線踏切渋滞解消促進期成同盟の活動を報告します
2. 連続立体交差事業と沿線のまちづくりの進捗状況についてお知らせします
3. 西武新宿線沿線まちづくり整備方針【野方駅周辺地区編】（素案）を策定しました

## 1. 西武新宿線踏切渋滞解消促進期成同盟の活動を報告します

西武新宿線踏切渋滞解消促進期成同盟は、2004年1月に中野区民、中野区議会、中野区が一体となって西武新宿線の踏切渋滞などを解消するために結成された団体です。2012年以降は毎年決起大会を開催して決議文を採択し、国、東京都、西武鉄道株式会社への要請活動を行ってきました。

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、決起大会の開催を取りやめ、代替措置として、すべての加盟団体と西武新宿線沿線の町会・自治会から賛同を得た決議文を理事会で採択しました。

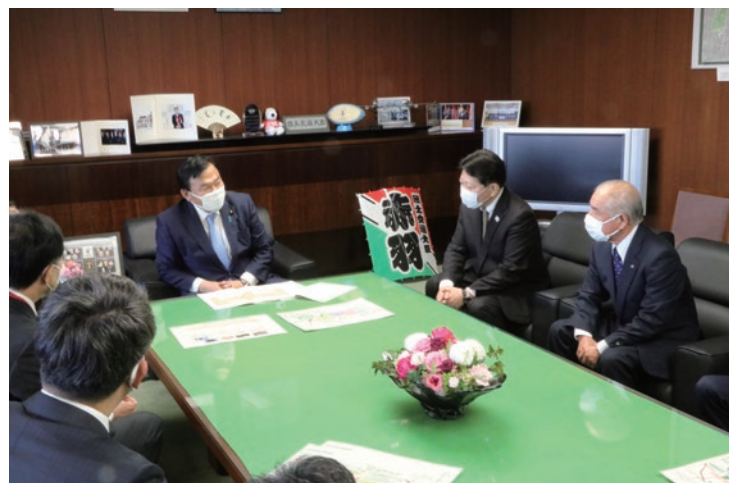
踏切渋滞などを解消するために①中井駅～野方駅間の連続立体交差事業の着実な推進、②野方駅～井荻駅間の連続立体交差事業の早期実現、③連続立体交差事業及び沿線まちづくり事業の安定した財源の確保の3点について記した決議を基に、次の方法で要請活動を実施しました。

### 【国】

期成同盟会長、中野区議会議長、中野区長が代表して赤羽一嘉国土交通大臣を訪問し、要望書を手渡して決議した内容を直接伝えるとともに、国土交通省、財務省の政務三役及び関係幹部宛てに要望書を送付しました。

### 【東京都・西武鉄道株式会社】

要請活動を予定していた時期（2021年1月）が緊急事態宣言中であったため、訪問形式による要請活動は実施せず、東京都の都市整備局長・建設局長宛て、西武鉄道株式会社の代表取締役社長宛てに要望書を送付しました。

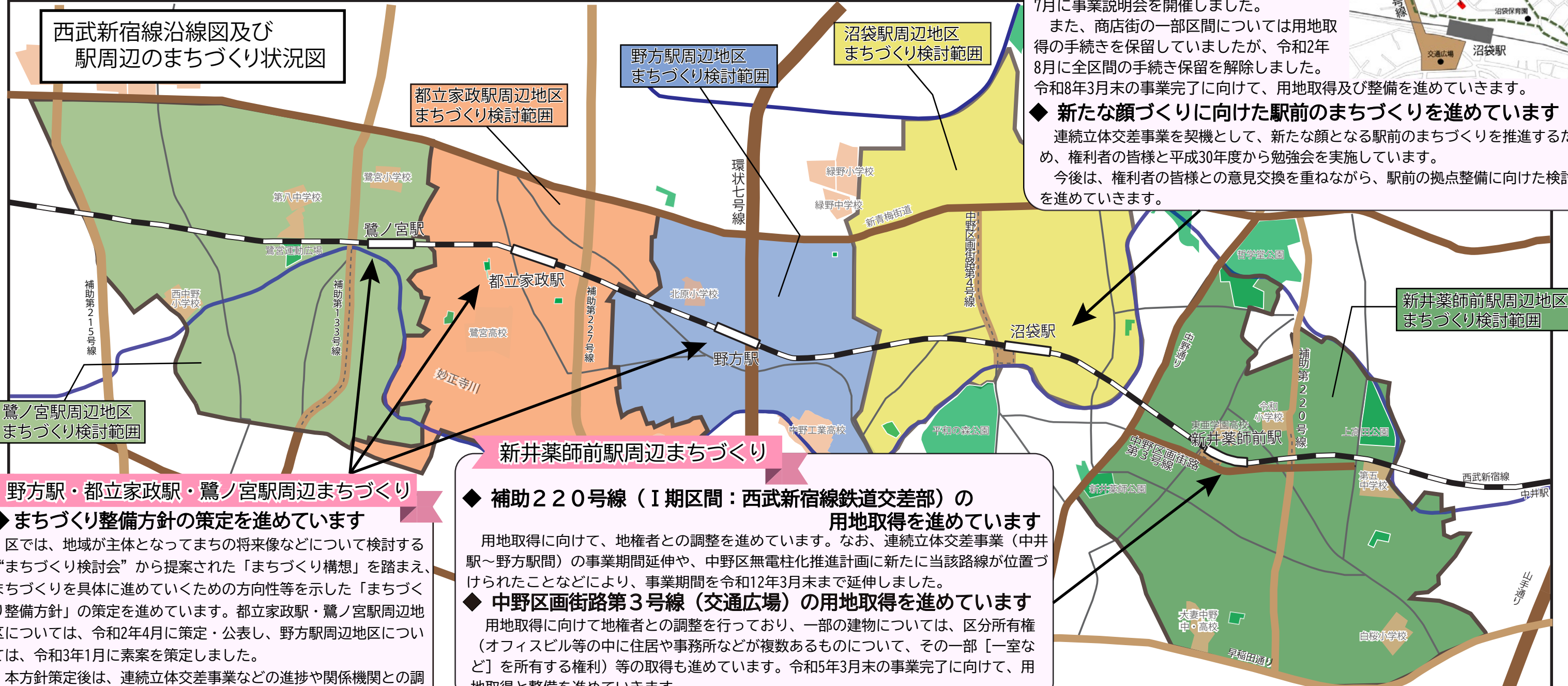


赤羽国土交通大臣への要請活動の様子  
(2020年12月25日 国土交通省にて)

# 2. 連続立体交差事業と沿線のまちづくりの進捗状況についてお知らせします

西武新宿線連続立体交差事業（中井駅～野方駅：約2.4km）は、平成25年4月より事業に着手し、工事を進めています。この事業により、7カ所の踏切が解消され、踏切による周辺交通の渋滞や踏切事故が無くなることによる安全性の向上など、様々な整備効果があります。事業用地取得の遅れのため事業期間が延伸されましたが、**令和9年3月末までの事業完了を目指し、整備が進められています**。野方駅～井荻駅間についても、東京都が連続立体交差事業の準備中区間としており、事業化に向けた検討が進められています。

ここでは、令和2年度の各駅周辺の都市基盤整備の進捗状況やまちづくりの検討状況等について紹介します。



西武新宿線沿線図及び駅周辺のまちづくり状況図

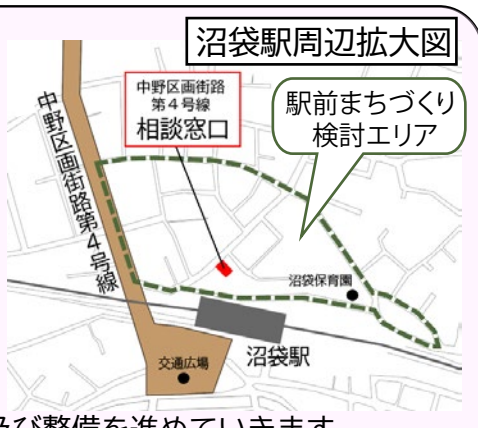
## 沼袋駅周辺まちづくり

### ◆ 中野区画街路第4号線（全区間）の用地取得を進めています

令和2年6月に沿道権利者の生活再建に関する支援策として相談窓口（事務所）を開設し、7月に事業説明会を開催しました。また、商店街の一部区間については用地取得の手続きを保留していましたが、令和2年8月に全区間の手続き保留を解除しました。令和8年3月末の事業完了に向けて、用地取得及び整備を進めていきます。

### ◆ 新たな顔づくりに向けた駅前のまちづくりを進めています

連続立体交差事業を契機として、新たな顔となる駅前のまちづくりを推進するため、権利者の皆様と平成30年度から勉強会を実施しています。今後は、権利者の皆様との意見交換を重ねながら、駅前の拠点整備に向けた検討を進めていきます。



## 野方駅・都立家政駅・鷺ノ宮駅周辺まちづくり

### ◆ まちづくり整備方針の策定を進めています

区では、地域が主体となってまちの将来像などについて検討する「まちづくり検討会」から提案された「まちづくり構想」を踏まえ、まちづくりを具体的に進めていくための方向性等を示した「まちづくり整備方針」の策定を進めています。都立家政駅・鷺ノ宮駅周辺地区については、令和2年4月に策定・公表し、野方駅周辺地区については、令和3年1月に素案を策定しました。

本方針策定後は、連続立体交差事業などの進捗や関係機関との調整状況を踏まえながら、駅前広場の創出や駅前拠点の形成など、まちづくりの施策について検討を行い、都市計画等の必要な手続きを進めていきます。

※まちづくり整備方針[野方駅周辺地区編]（素案）は、第4面に詳しく掲載しています！

## 新井薬師前駅周辺まちづくり

### ◆ 補助220号線（I期区間：西武新宿線鉄道交差部）の用地取得を進めています

用地取得に向けて、地権者との調整を進めています。なお、連続立体交差事業（中井駅～野方駅間）の事業期間延伸や、中野区無電柱化推進計画に新たに当該路線が位置づけられたことなどにより、事業期間を令和12年3月末まで延伸しました。

### ◆ 中野区画街路第3号線（交通広場）の用地取得を進めています

用地取得に向けて地権者との調整を行っており、一部の建物については、区分所有権（オフィスビル等の中に住居や事務所などが複数あるものについて、その一部【一室など】を所有する権利）等の取得も進めています。令和5年3月末の事業完了に向けて、用地取得と整備を進めていきます。

新井薬師前駅周辺拡大図



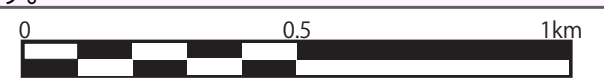
### ◆ 新井薬師前駅地区再開発協議会が設立されました

新井薬師前駅前地区では、新たな顔となる駅前の拠点空間創出に向けて、市街地再開発事業などの共同化についての勉強会を重ね、令和2年8月に権利者主体の「新井薬師前駅地区再開発協議会」が設立されました。今後は、協議会の活動の中で、より一層の再開発事業への機運醸成を行い、区では再開発準備組合の設立に向けた活動を支援していきます。



再開発協議会設立総会の様子

凡例		
都市計画道路	整備済	地域の主な道路
事業中	学校	河川
未整備	都市計画公園	鉄道・駅



# 3. 西武新宿線沿線まちづくり整備方針 〔野方駅周辺地区編〕（素案）を策定しました

## <西武新宿線沿線まちづくり整備方針とは>

区の上位計画や、地域が主体となってまちの将来像などについて検討する“まちづくり検討会”から提案された「まちづくり構想」を踏まえて、これからの野方駅周辺地区の姿やまちづくりを具体的に進めて行くための方向付けを示すものです。

## 野方駅周辺地区編（素案）（概要）

※「西武新宿線沿線まちづくり整備方針（素案）」から抜粋

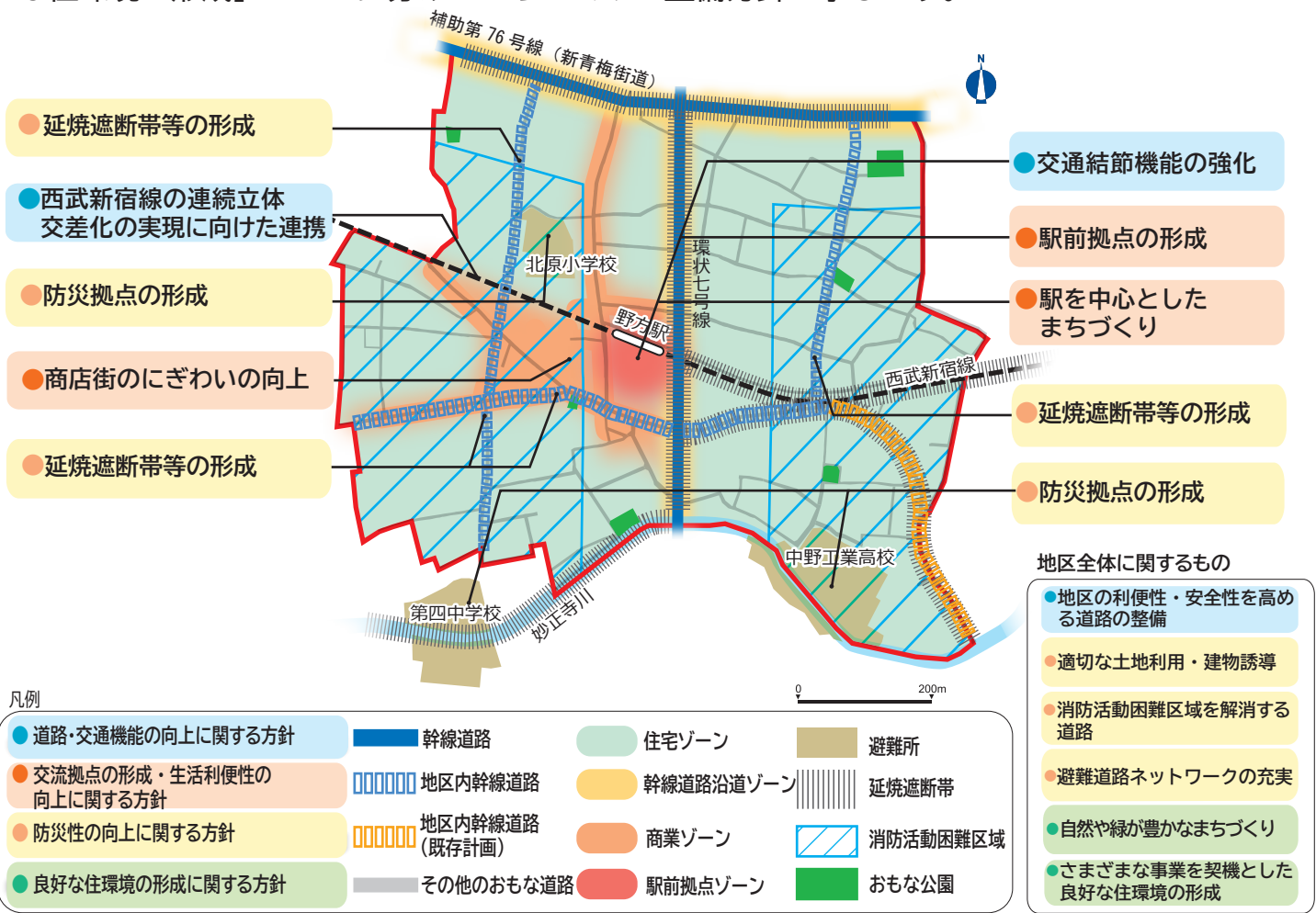
### <目標とするまちの姿>

庶民的で情緒のある商店街を求めて、多くの人が集まるふれあいのまち

西武新宿線の連続立体交差事業を契機に、野方駅を中心とする都市基盤の整備と、野方の利便性や商店街のにぎわい等、野方駅周辺地区の特性を活かしたまちづくりを進め、地域に住んでいる人、働いている人、そして訪れる人がよろこびと満足を得られる活気のあるまちを目標とします。

### <まちづくり整備方針>

「道路・交通機能の向上」「交流拠点の形成・生活利便性の向上」「防災性の向上」「良好な住環境の形成」の4つに分けてまちづくりの整備方針を示します。



### <お問い合わせ>

中野区 まちづくり推進部 まちづくり計画課  
TEL：03-3228-5463 FAX：03-3228-5417  
E-Mail：matidukurikeikaku@city.tokyo-nakano.lg.jp

※連続立体交差事業や沿線のまちづくりについては、中野区ホームページで「西武新宿線沿線まちづくり」と検索するか、右側の二次元コードを読み取るとご覧いただけます。

